火災から あなたと家族の命を守る！

火災による死者の多くは高齢者が占めています

主な出火原因と対策

たばこ

・寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
・吸い殻を灰皿にためない。
・吸い殻は水で完全に消してから捨てる。

ストーブ

・ストーブには、燃えやすいものを近づけない。
・外出時、就寝時には必ず火を消す。
・石油ストーブ等は、必ず火を消してから給油する。
・ストーブの近くで洗濯物を乾かさない。

こんろ

・こんろを使用しているときは、その場から離れない。
・周囲に燃えやすいものを置かない。

放火

・家のまわりに燃えやすいものを置かない。
・ゴミは決められた収集日の朝に出す。

電気器具

・電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
・家具などの下敷き、折れ曲がりに注意する。
・電気コードは束ねて使用しない。

たき火

・乾燥注意報が出ているとき、風の強いときは実施しない。
・水バケツや消火器など消火の準備をしてから実施する。

東近江行政組合消防本部

住宅防火　いのちを守る　7つのポイント

3つの習慣

寝たばこは、絶対やめる。

ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。

ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

住宅用火災警報器を設置する。

火災を早く発見するために

- 住宅用火災警報器は、火災により発生する煙を感知し、音や音声により警報を発して火災の発生を知らせてくれる機器で、火災を早期に発見し、大切な命を守るために大変有効です。
- 住宅用火災警報器は、寝室と２階の階段の上部に設置してください。
- 住宅用火災警報器を設置されているご家庭は、定期的に作動確認を行い、音が鳴らない場合は機器を交換するなど、適切な管理・交換をお願いします。交換の目安は10年です。

防炎品を使用する。

火災を拡大させないために

- カーテン、じゅうたん、寝具や衣類などに火が着いても、燃え広がりにくいので安全です。
- 防炎品には、防炎ラベル等が貼付されており、ホームセンター等で購入できます。

住宅用消火器などを設置する。

火災を早く消すために

- 消火器による初期消火は、火災の被害軽減や抑制に非常に有効ですので、火を使用する場所には消火器を備えましょう。
- 一般住宅向けの小型、軽量な住宅用消火器や、片手でも使用できるエアゾール式消火具を備えておくといざというときに役立ちます。
- 消火器は、お近くのホームセンター、防災機器取扱店などで販売されています。

隣近所の協力体制をつくる。

火災からまちを守るために

- ご近所同士で声をかけあい「火の用心」に心掛けましょう。
- 家の周りに燃えやすいものを置かないなどの「放火されない、放火させない環境づくり」に努めることが大切です。

東近江行政組合消防本部